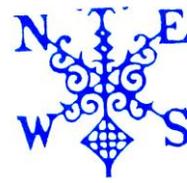




園通信



5 4 4 号
R8. 2. 10
いさわこども園



「ゆらゆら動くの！」

「いただきます！」

「チェーン遊び！」



みるく組(0歳児)

テーブルに子ども達が好きな玩具を置いて、遊び始めました。「はい、どうぞ！」「いただきます」と可愛らしいしぐさを見せてくれる子ども達です。

雪が積もり、真っ白な園庭に駆け出す子ども達。雪の上を歩いたり、走ったり、寝転んだり、雪だるまを作ったり、雪合戦をしたり、思い思いの遊び方で、冬の自然を存分に楽しんでいます。立春が過ぎ、少しずつ春が近づく季節の変わり目を感じながらも、可能な限り雪に触れて遊ぶことを楽しませていきたいと思えます。

早いもので今年度も、残すところ2ヶ月となります。これまで私たちは子ども達がゆるぎない愛情の中で、豊かな自然や様々な人とのかかわりの中で、多くの体験をして、心身ともにたくましく育てて欲しいと願って、教育・保育をしてまいりました。園生活の締めくくりの時期に、子ども達一人一人が大きくなったことを感じながら、自信につながるような環境づくりや言葉がけ、関わりを続けていきたいと思えます。

1月2月のあしあと

園長が3学期の、節分やひな祭り、お別れ会、卒園式などの行事と目標について話をしました。きいろ組の子ども達は真剣に話を聞きました。



1月21日(水)
始業式



園長の話から 3学期の目標について

- ・自分でできることは、自分でできるようにしましょう。
持ち物は自分で持っていますか？
お道具箱は整理整頓していますか？
 - ・自分の良いところを見つけましょう。
・友達の良い所を見つけて、仲良く遊びましょう。
一人一人に良い所はいっぱいあるので、見付けて仲良くしましょう。
- 最後に
楽しいことがいっぱいあるので、友達と一緒に楽しい3学期にしましょう。
病気やけがをしないように、毎日元気にこども園に登園しましょう。



早速「自分のよいところ」をみんなの前で発表しました。「わたしのよいところは友達と仲良く遊べるところです」と話してくれました。

友達に良いところを言われ嬉しい気持ちになりました。

1月23日(金)誕生会 「いちごみるく」さん来園

3・4・5歳児(もも組、みどり組、きいろ組)の誕生会にいちごみるくさんが来てくれました。

子ども達は、大型絵本「はらぺこあおむし」や大型紙芝居の読み聞かせに見入っていました。エプロンシアターや色鮮やかな影絵を夢中になって楽しみました。最後は、ラーメン体操!大きな器の動きや割りばしのポーズがストレッチの動きになっていて、見本を見ながら子どもも職員も楽しく体を動かしました。



いつも、楽しいお話をありがとうございます。



きいろ組の子どもが、いちごみるくのみなさんに、感謝の気持ちを伝えました。



今年度は、2回来園でした。友達や保育教諭と一緒に目の前で演じられているものを見て、わくわくする体験となりました。

1月14日(水) 避難訓練

子育て支援センターからの出火を想定して、避難訓練を行いました。防寒着を着用して避難しました。強風のため、01歳児は、保育室内ですぐに避難できる場所に集まりました。雪の中で、子ども達が安全に避難するには、職員がどのように対応するか、確認しました。



1月30日(金)

学校薬剤師の皆川さんによる環境検査を受けました。

保育室の明かりと、湿度、気温を含む空気について、みどり組の保育室で検査を受けました。皆川さんは「みんなが快適に保育室で過ごせるように検査をします」とあいさつをして下さいました。普段なかなか見慣れない機器を使って検査を進めながら、近くにいる子ども達に「まぶしくないですか?」と声を掛けていました。



検査の結果

- ・保育室では、対角線になるように排煙窓などで常時換気をしており、又空気清浄機を使用しているため、空気はきれいです。人が多くいるので、どうしても活動後には二酸化炭素が増えます。活動の合間には外と廊下に面した窓を開けて換気をする必要があります。
- ・明かり、まぶしさは、子どもが活動する場所は、直接日光が当たらないようにロールカーテンを使用すると、ちょうどよい明るさになります。

大切なアドバイスいただきました。

※当園では、1年に2回の検査を受け、安心安全の環境を整えていきます。



1月28日(水) 当園の看護師による「ほけんのはなし」 もも組 みどり組 (きいろ組は2月に実施)



冬の生活の中で保健的に大切なこと

○**咳エチケット**とは、咳をした時に目に見えないウイルスなどをまき散らさないようにすること。

○**咳が出るときには**

- ・マスクをつける
小さい子どもの場合は活発に動いて、息苦しくなることもあるので、出来る範囲で着用が望ましい
- ・ハンカチやティッシュペーパーで口や鼻に当てる
- ・ハンカチなどがすぐに出せないとき
肘の内側を口に当てる。

「はくしょん」「ゴホン ゴホン」とした瞬間に2m先まで飛んで、その後すぐに消えずに、ゆっくり浮遊しながら、下へ降りてくるとのこと。



子ども達には忍者のポーズと知らせました。



○目に見えないウイルスやほこりなどは、空気中にいつも多少あって、咳をした後にはいつもより増えているかもしれません。なので、ご飯を食べる前には、石鹸を使って手をきれいにして、ばい菌が口から入らないようにしなければなりません。

○では、鼻水が出た時にも、忍者のポーズでしょうか?

鼻水が出たら、ティッシュペーパーを二つ折りにして、片方の鼻の穴を押さえて、「ふうん」と優しく鼻から息を出すようにして、鼻水を吸い取ります。使い終わったティッシュはごみ箱に捨てます。そして、手にも鼻水のばい菌がついているかもしれないので、手を洗うと安心です。



今年の雪遊び

ふうーと吐く息が白く見える日、園庭に白い雪が積もると、子ども達は元気に駆け出し、たくさんの足跡をつけながら雪遊びを楽しんでいます。

ジャンプスーツを着て、靴下と帽子を身に着け、ブーツを履きます。手袋をはめるのはなかなか難しく、何度も手を抜いたり、向きを変えたりして、指を通していきます。いよいよ準備完了です。ふかふかの雪の上に寝転んだりして、雪だるまをつくったり、山を作って滑ったりして、体いっぱい雪遊びを楽しんでいます。

きいる組では雪の上に絵の具で線を描いて、雪上の相撲に取り組んでいました。行司役も子ども達がやって、かわいい取組が続けられていました。アスレチックの下は、天気が良い日でも、氷が見つかる嬉しい場所になっています。

保育室に戻るときには、ジャンプスーツを脱いで、自分でハンガーにかけたり、洗濯物干しパンチに手袋や帽子をとめようと、毎回がんばっています。

もう少し雪遊びを楽しんでいきたいと思います。



1月17日(土)

南都田地区振興会・教育振興運動実践協議会

新春ふれあい方言かるた大会



地域世代交流の冬の企画して毎年「新春ふれあい方言かるた大会」を開催されています。いざわこども園は2回目の参加となりました。

小学生はもちろんのこと、地域のみなさんの読みはじめてから札を取るまでの速さに圧倒されました。

結果は、4位!ステージの上での決勝戦にやや緊張した様子の3人ですが、がんばりました。

千葉富美恵調理師から

地域のみなさんと触れ合う機会となつて、嬉しかったです。おじいちゃん、おばあちゃんと「南都田の方言どうだった?」「どこから来たの?」など会話が出来て、懐かしい気持ちになりました。



小原恵里先生から

方言も予想以上にスラスラと聞き取れる自分に「さすが胆沢の人だな」と思いました。おかげで、連続3枚取れた時もありました。

佐藤早苗調理師から

練習をちょっとしたので、もっと、とれるかと思っていましたが、思うようにいきませんでした。チームのみんなと一緒に楽しく参加しました。





2月3日(火) 節分の会

各クラスでかわいらしい鬼のお面を作り、被って節分の会に参加しました。パネルシアターやペープサートを使っの節分の由来について話を真剣に聞く子ども達。鬼の怖さだけでなく、気づいた様子も見られました。

青鬼と赤鬼が保育室に登場すると、友達と一緒に勇気を出して、豆を投げて退治しようと頑張った子ども達。鬼が保育室から出ていくと心の中の鬼もなくなったようで、すっきりした気持ちになりました。少しずつ、春が近づいてきますね。節分の会のエピソードをお知らせします。



節分とは、立春の前の日に行う行事で、明日から春が始まる季節の変わり目の日です。昔は病気やケガ、悪いことは、家の中や自分の中に鬼が入ってきて、悪さをすることで起きると言われていました。そこで悪いことを起こす鬼を退治しようと願いを込めて、「鬼は外、福は内」と豆をまいたと言われています。

みるく組
0歳児



みかん①組
1歳児

鬼が帰ってから「赤鬼が来た」と話す子ども達。Aは「青鬼もいた」と窓からのぞいた青鬼のことにも気づいていました。



はじめのうち、「なんだろう？何か来た」という感じでした。保育教諭が鬼と手を合わせて見せると、怖々手を伸ばしてみる子ども達でした。



あか組
2歳児

一生懸命豆を投げ、鬼退治をがんばった子ども達に「すごいね！」と声を掛けると、安心したのか泣き始めてしまいました。勇気を振り絞ってがんばったことが伝わる様子でした。



もも組
3歳児

保育教諭が鬼の箱をもって、子ども達がボールを入れるゲームをしました。たくさん入ったところで「はっくしょん」と箱をひっくり返すと、笑いながらボールを入れ続ける子ども達。そこへ鬼が登場して驚く様子が見られましたが、鬼と一緒に「鬼のパンツ」を踊りました。振り返りの場で「楽しかった」と話す子がたくさんいて、嬉しく感じました。



みどり組
4歳児



クイズをした時、Bが鬼と同じ答えになってしまいました。Bには特別のことに、「鬼に抱っこしてもらって、力がついたね。ご飯もモリモリ食べられたね」と保育教諭がいうとBが「そうだよ。鬼に抱っこされて力強くなった。」と得意げに話していました。



みかん②組
1歳児



きいろ組
5歳児

鬼と何をして遊びたいか？相談していたきいろ組！一緒に大きな紙に絵を描きました



※当園の節分は、安全面に配慮し本物の豆は使わずに新聞紙を丸めたものを使っています。

私たちが伝えたい「7つのメッセージ」ぜひご覧ください。



7. こどもは自然が大好きです。

朝起きてカーテンを開けると。お日様の光が降り注ぎます。まだ眠い子どもも、その日射しのまぶしさで、だんだんと目を覚ましていきます。日の光を浴びることで、一日の生活リズムが整うと言われています。お日様という自然の力です。しっかりと朝食を食べて、保護者の皆様の家事が落ち着いたら、さあお出かけです。「お片付けして、お外いこよ」の声かけで、いそいそと玄関へ向かいます。

一人で歩けるようになれば、頭部保護、熱中症予防や保温のために(嫌がらなければ)帽子をかぶることをお勧めします。また暑くても寒くても、お茶などの飲み物を持っていきましょう。準備ができたらさあ出発。「今日はどこへ行くのかな？」

目的地まで車でという家庭も多いと思いますが、歩くこと(お散歩)で自然との関わりがぐんと増えます。公園があれば公園へ、川があれば川へ、あぜ道があればあぜ道へ、でいいのです。道端の花を見つけて香りを楽しんだり、そーっと触ってみたり、犬や猫、鳥たちに声をかけたり、日向の暖かさ、日陰の涼しさなども感じながら、お散歩を楽しみます。**目的地に着くまでの寄り道は子どもにとっての宝物です。**

雨の日は湿った空気や雨音が子どもを包みます。サッシを伝う雨粒も、子どもには不思議な生き物のように、注意をひきつけます。一日中雨で外に出られない時も、少し窓を開けて外気に触れたり飾ってある花や水槽の魚、虫かごにいる虫たちを眺めることができれば、自然に触れたいという子どもの欲求に応えられます。

図鑑や絵本で、昨日からポケットに入れて持って帰ったものを調べたり、並べたり、興味、関心に応じた楽しみ方ができます。

子どもは胎内で生まれ、身近な大人の体温を感じ、外気に触れ、大地を這い、育っていきます。泣いている赤ちゃんを抱っこしてベランダに出ると泣き止むのは、風や匂いなど目の前に広がる未知なる自然を敏感に感じとっているのでしょう。

暑い、寒いと戸外に連れ出すことを負担に感じる時もあります。でも遊びが無限にある自然の中での遊びが、子どもは大好きです。「おそと行こうか」の声かけを子どもは待っています。

「7つのメッセージ」は今月号をもって終了となります。7つのメッセージは私たちが保育をしていく中で培ってきた「こどもにとって大切なこと」です。私たち大人には、子どもたちのためによりよい社会をつくっていく責任があります。そのために「子どもにとって何が必要なのか」を保育関係者だけでなく、多くの人に知っていただき、実践してもらうことです。そうすることで、すべての大人が子どもを支える「子どもまんなか社会」が実現するのではないのでしょうか。この7つのメッセージを広く伝えていくこと、それこそが私たちにとっての「こどもまんなか」アクションだと考えています。

月	火	水	木	金	土
2	3 節分の会	4 避難訓練	5 職員会議 若柳小学校体験入学・保護者説明会	6	7
9 歯科保健連絡会	10 南都田小学校入学説明会・体験入学 本部会議 法人研修委員会	11 建国記念の日	12 園内研	13 卒園児記念撮影	14 手作り弁当
16 給食会議 (0歳児)	17 誕生会 竹ばやし引継ぎ式 職員会議	18 保健所による 給食施設見学	19 わんぱく探検隊 解散式	20	21
23 天皇誕生日	24 令和8年事業計画・ 予算調整会議	25 不審者対応訓練	26 第8回理事会 役員協議会	27 法人研修会	28 手作り弁当
3/2 身体測定 (全園児) 南都田小学校との カリキュラム会議	3 誕生会 ひな祭り会	4 南都田小学校学校探検 (5歳児・きいろ組) 職員会議	5 避難訓練	6	7

行事予定変更



2月19日(木)

わんぱく探検隊解散式・竹ばやし引継ぎ式
予定しておりましたが、

2月17日(火)竹ばやし引継ぎ式

2月19日(木)わんぱく探検隊解散式

と、2日間で式を行うことになりました。
きいろ組からみどり組へわんぱく探検隊といさわ
竹ばやしを受け継がれる大切な日となります。
子ども達と職員で行います。

2月25日(水)に

不審者対応訓練を行います。
今回は「熊が園庭に近づいて来た」ことを想定して、対応の訓練を行います。

熊が出没した場合の対策に不足な点はないか、取り組みについて話し合っていきます。



カメラ スケッチ

みるく組（0歳児）両足ジャンプに挑戦中です



みどり組（4歳児）こままわし
「よく回るんだよ」



みかん①組（1歳児）手袋して
いると、冷たくないよ



あか組（2歳児）マグネットパズル
「テーブルに着いちゃった！」



みかん①組（1歳児）絵本大好き



きいろ組（5歳児）「はっけよーい のこった」



あか組（2歳児）
跳ぶよ！ジャンプ！



きいろ組（5歳児）
節分の会で青鬼と描い
たんだよ。ほらこれ！



もも組（3歳児）「雪の中に！」「なに??」



みどり組（4歳児）「先生、雪投げる
から逃げてね」「速いよ」「うん」



みどり組（4歳児）節分の会〇×クイズ 「やったー！当たった」



もも組（3歳児）「また来てね」